



精英堂印刷株式会社

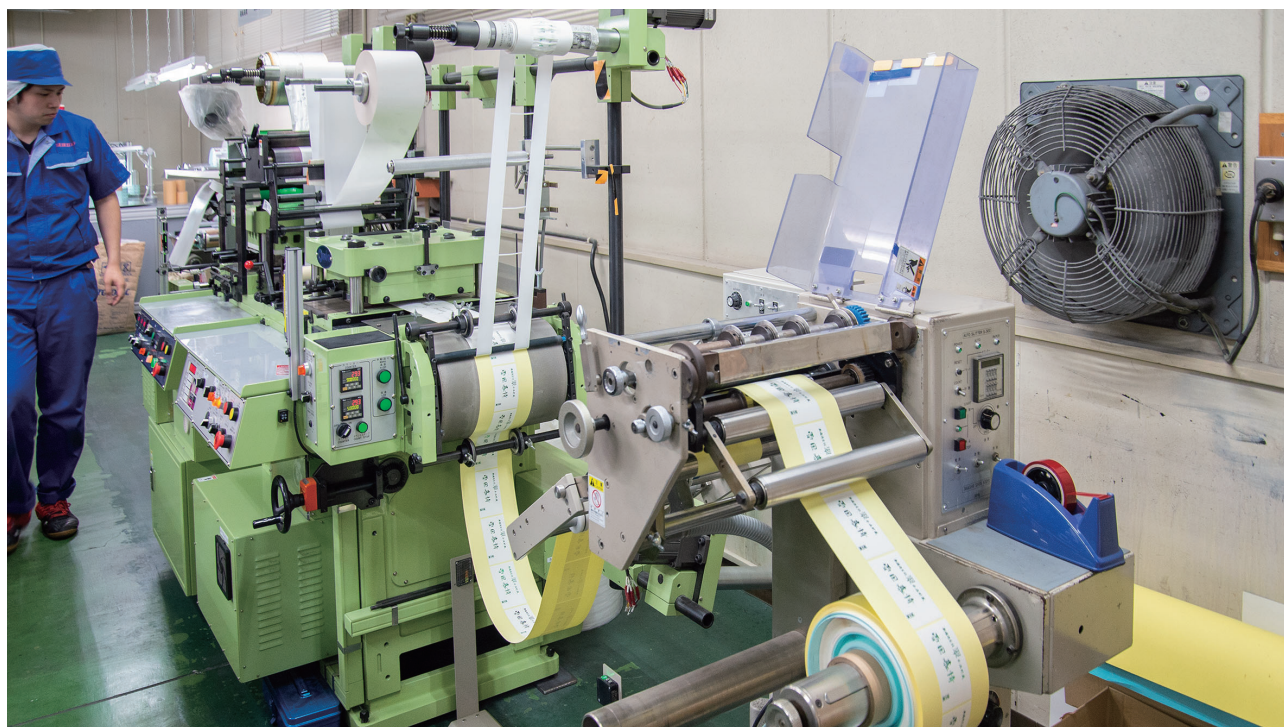
平成26年度採択

〔対象類型〕 ものづくり技術

〔事業類型〕 設備投資

事業計画名

箔押し等加工機械の導入によるシール品質の向上と顧客製品の付加価値の拡大



シール・ラベル用の箔押し機とラミネート機が一体となった装置を導入

事業の背景・目的

当社は大正4年に創業し、平成27年で創業100周年を迎え、主な製品として「パッケージ」「ラベル・シール」を製造している。当社の印刷方式のコアテクノロジーである「水なし印刷」を軸に「環境にやさしいものづくり」と「お客様の商品の価値を高める意匠の提案」を両立することで顧客の付加価値向上と販売力の強化を図る。

シール、ラベルの製造において印刷後に製品のデザイン性を向上させるため「箔押し加工」と「ラミネート加工」を行う場合があるが、この加工を行う設備を現有していないため、県外の業者などに外注せざるを得ない状況になっている。そのため、外注費、運搬費など直接、間接的な製造コストがかかる。他にも課題があり、その解決のため設備を導入する。

事業内容

当社として初めて、シール・ラベル用の「箔押し機」と「ラミネート機」が一体となった装置を導入した。導入したことで可能になる内容は、箔押し、ラミネートを社内で加工することにより、デザイン制作者が製造段階でデザインの再現性を確認することが出来る。また、これまで県外の業者に依頼していた分の外注費、運搬費が削減、または必要がなくなり、外注加工と運搬の時間がなくなるため、納期の短縮につながる。

箔押し、ラミネート加工だけでなく、印刷工程から外注していたことも多かったため、当社の「水なし印刷」の特性を活かしたり、環境面においてもPR出来ないなどの制約がなくなり、顧客への提案の幅が広がる。

業務内容

企画デザインから製版・印刷・製函工程まで一貫した自社生産体制と100年の歴史の中で培った膨大かつ確かなノウハウ。

環境にやさしい印刷方式として「水なし印刷」を積極的に推進しパッケージ印刷分野において日本で初めて「水なし印刷」製品の安定的な生産に成功。お客様から高い評価をもって採用していただいている。



精英堂印刷 外観

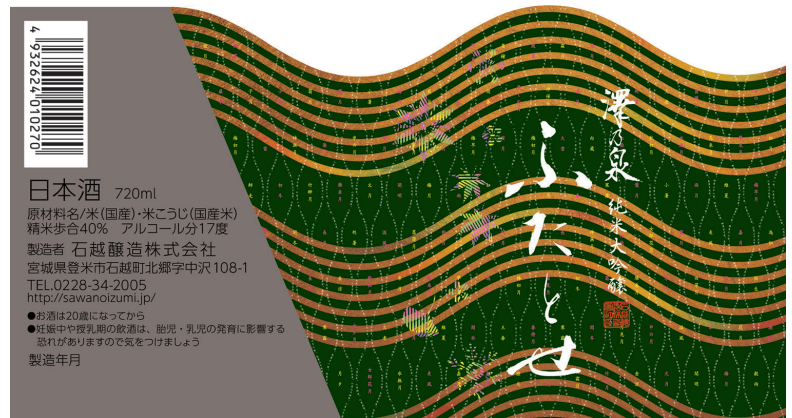
代表者: 井上 吉昭
設立年: 昭和27年4月
資本金: 1億円
従業員: 162名

住所: 山形県米沢市八幡原1-1-16
電話: 0238-28-2211 FAX: 0238-28-2210
URL: <http://www.seieido.co.jp>
e-mail: ホームページお問合せより

デザイン力・印刷技術でラベルコンテスト世界No1の実績 マイクロ文字やレインボー箔も水なし印刷と箔押し加工で美しく



導入した設備で印刷後に加工を施したラベル



平成30年 第28回日本シール・ラベルコンテスト『日本印刷産業連合会会長賞』

事業の成果

当社の「水なし印刷」は水を使用しないため、非常にクリアに再現され細部の線なども高い再現性を保持出来る印刷になっている。そのため、デザイン制作担当者が顧客との共同企画により、シールやラベルにグラデーションやマイクロ文字を施したデザインを提案した場合でも、水なし印刷による再現と、箔押しやラミネート加工の完成度が上がる。これまでも日本、世界の権威あるシール・ラベルコンテストで数多くの賞を受賞しているが、本事業で設備導入後はさらにデザイン力と印刷技術が相まり、品質が向上、優秀作品として賞を受賞している。

また、内製化により外注費、運搬費などの直接間接経費の削減、時間短縮により生産性の向上が図られた。

今後の展望

当社では平成12年から日本シール・ラベルコンテストに出展し、毎年入賞、平成27年には日本代表として世界でNO.1の栄誉を受けた。こうした実績を踏まえ、付加価値のあるラベルの提案をきっかけに、ラベルに限らず、パッケージからすべてを受注していく販売展開を図っていく。パッケージに関しては、形状設計から社内で一貫生産できる体制が整っているため、グレードの高い商品や高級な商品に対しても価値、魅力を引き出す提案を行っていく。

これまで得意としていた純米大吟醸酒などの高級日本酒の分野の他に、ジャムやドレッシングなどの高級加工食品、栄養滋養食品、健康食品の瓶又はケース、化粧品などさまざまな分野の製品に対して販路拡大を狙っていく。